

《 参 考 》

令和 5 年 7 月 1 8 日

山形「つや姫」「雪若丸」ブランド化戦略推進本部

令和 6 年産「雪若丸」の生産量について

物価高により消費者の生活防衛意識が高まる中であっても、ミドル価格の上位ポジションの維持を目指し、適正収量を遵守し稲作農家の所得向上を図っていく。

マーケットインの視点に立ち、生産組織が「売れる米づくり」を自ら実践することを基本としながら、販売動向や各生産組織の意向を踏まえ生産量を設定するとともに、計画的に種子生産を進めていくこととし、令和 5 年産より作付面積を約 600ha 増加の 5,100ha 程度とし、生産量を約 3,200t 増加の 30,000t*程度とする。

※ 平均単収 590kg/10a として計算

- ・ 登録生産組織の作付意向を考慮。
- ・ 消費者の低価格志向が強まる一方、リピーターが増加という声や米穀専門店での取扱増に着目。
- ・ 一定の価格水準を維持することを前提に、需給動向を踏まえながら「はえぬき」からの転換を進めていく必要。
- ・ 県外での更なる認知度向上と需要開拓を図るため、計画的に作付面積を拡大。